

卒業後も図書館を



図書館報

第232(21-2)号(2022.3)

横浜女子短期大学図書館

TEL 045-835-8115/FAX 045-835-8118

E-mail lib@yokotan.ac.jp

2年生から1年生へメッセージ

実習に不安を感じているあなたへ

S.A

実習前、日誌の書き方や手遊び、指導案等、何を書けばいいか何をしたらいいか沢山悩みますよね。そんな時は図書館に行ってみましょう！ 図書館には年齢ごと、季節ごとの指導案や日誌の書き方が載っている本や、手遊び、ペープサートのアイディア集の本が沢山あります。これを読めば実習への準備は万全！ 安心して臨むことができます。また、絵本や紙芝居も豊富にあり、選ぶのも楽しいですよ！！ 実習期間が近づくと人気がある本はなくなるので早めに行くことをおすすめします。



実習生のポケットのひとつ

I.A

実習に行く前「子どもたちと楽しく過ごせるかな」「毎日の日誌しっかりと書けるかな」などの不安があるかと思います。そんな時は図書館に足を運んでみてください。たくさんの絵本や日誌、指導案の書き方など何でも揃っています。実習中にやる事が尽きてしまうことや、実習生として何が出来るかなど迷う時が必ずきます。その時に、絵本を持っていることで子ども達との楽しい時間を作ることができたり、参考書から指導案を立てることができます。何より楽しいポケット(絵本)を持っている保育者は子どもたちの人気者になれます。みなさんもぜひ図書館を利用して子どもたちと楽しい時間を過ごせる有意義な実習にしてください。



私の落ちつける場所

N.M

私は、授業の前後に図書館に行き課題などを取り組むことが多かったです。それは静かで集中しやすいというのがありますが、雰囲気にも温かみがあり、図書館に行くと心が落ち着き、他の教室などよりも集中して課題などに取り組めるからです。また司書さんも優しく、本の場所がわからず聞くと、一緒に探してくれます。きっと優しい司書さんがいるからこそ、この温かい雰囲気が図書館にあるのだと思いました。みなさんもぜひ図書館に行ってみてください！！



悩んだら図書館へ

K.Y

実習前に、どのような絵本や紙芝居を用意しようか悩むことも多いと思います。そんなときには、図書館の目立つ場所に置かれている、その時々季節にあったオススメの絵本がとても参考になりました。みなさんも、悩んだときはぜひ手にとって読んでみてください。素敵な物語に出会えると思います。

また、保育者になるために役立つ参考書も、文章が苦手な人にも読みやすいものがたくさん紹介されています。みなさんも、ぜひ図書館を利用してみてください。

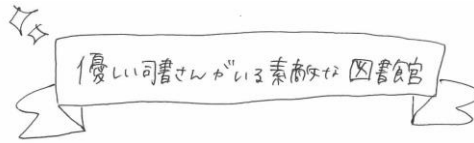


実習・レポートの準備は早めに

H.H

実習前や、レポートをまとめる際は、参考になる本が沢山ある図書館の利用をおすすめします。私は実習前に絵本や紙芝居を借り、部分実習や責任実習の導入などに使用しました。指導案やレポートで悩んだ時も保育コーナーや自習スペースを利用し、とてもお世話になりました。同じ本が複数用意されていますが、人気がある本はすぐ無くなってしまうため、早めに行くことをおすすめします。





K.K

2年次の教育実習で責任実習を行うことになり、優柔不断な私は、実習前日にカエルの紙コップロケットの製作をしようと決めました。その導入としてカエルの絵本を読もうと思い、図書館で本を探しました。しかし、カエルの絵本は全て貸出中で、せめて6月に合った本を借りようと思い、司書さんに「6月のおすすめの本、まだありますか。」と聞くと、数少なくなった季節の絵本を閉館時間まで一緒に探してくださり、無事実習を乗り越えることができました。それから図書館を利用するたびに司書さんが温かい言葉をかけてくださり、私にとってパワーが貰える場所になりました。みなさんも私の大好きな図書館をたくさん利用してください！！



☆☆☆新しい辞典です 活用してください☆☆☆

『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』（中坪史典 [ほか] 編）

近年子どもをめぐる様々な制度改革が行われています。このような背景のもと現役の保育士、幼稚園教諭の人たちに身につけてほしい基本的な事項や指針動向を網羅した辞典です。構成は「保育」「保育・幼稚園教育基本文書」「保・幼・小の連携・接続」「子ども家庭福祉」の4部からなり、子ども、保育、教育、家庭福祉に関連する多様な分野の事項と最新動向が掲載されています。将来、保育や教育の仕事に携わるみなさんを始め、子どもに関わる様々な人を支える、学習から実務まで活用できる辞典です。

(ミネルヴァ書房 2021)





卒業を迎えるみなさんへ



●●先生からのおすすめ●●

「ほっと・ホット」(季刊『児童養護』)

図書館長 スティーヴン・トムソン

本ではないが、『児童養護』の季刊雑誌のコラム「ほっと・ホット」を紹介する。『児童養護』は児童養護施設の保育者(ケアワーカー)を対象の専門雑誌である。掲載されている記事は難しそうに見えるため、目を通す学生はあまり見当たらない。しかし、児童養護施設に就職する予定(希望)の学生にすすめたいのは「ほっと・ホット」のコラムである。「ほっと・ホット」では、新任保育士(児童指導員)が子どもとの人間関係や苦労話を新人職員ならではの視点で書いている。最新版(2021年、Vol.52, No.2)では、2年目の保育士が「心の距離」と題して、担当児童との関わりを語っている。担当している子どもはいわゆる「女性アレルギー」を持っている中学2年生の男の子である。男性保育者とはにこやかに関わるが、女子保育者になると言葉が出ず、心地悪そうにその場を去る。保育士はどのように信頼関係を築くべきかを悩んだが、その子と徐々に信頼を積み重ねる経験を述べている。とても新人らしい悩みだったが、保育士は見事にその課題を乗り越えることができた。この「ほっと・ホット」では毎回4人の新任保育者が投稿している。児童養護施設に興味のある学生には是非読んで頂きたい。(全国児童養護施設協議会)



『保育者の地平—私的体験から普遍に向けて—』(津守真)

本田 幸

著者の津守真先生は、発達心理学の研究者として、長年にわたり子どもの研究をされてきました。『保育者の地平』には、著者が12年間、愛育養護学校の校長として子どもと関わり、保育実践を行った体験がまとめられています。ご自身の保育者第1日目から、12年間の実践と省察です。5年目からは、担任も経験されています。

この本を通して、保育者にとって大切なのは子どもと過ごす「いま」であるということ強く教えられます。さらに、保育を実践する上で、子どもを理解することの難しさや担任としての悩みなどにも触れられています。そのような意味でこの本は保育論であり、保育者論でもあります。保育の仕事は、楽しさや喜びが沢山あります。けれども、私は、保育は言葉や理論で表現されるほどに簡単ではなく、実践することは本当に難しいと常々思っています。難しいからこそ、やりがいがあるのかもしれません。

この本の最後には次のような言葉が記されています。



「子どもが生きる場所が光り輝くように

子どもがはじめた小さなことに目をとめて、それにこたえる保育者となるように」
私はこの言葉を大切にしていきたいと考えています。 (ミネルヴァ書房)
もう一冊、ぜひ読んでおいてほしい絵本をご紹介します。

『ばいばいコロナ』 (中川素子作・日隈みさき絵)

「コロナウイルスがいなくなったら、うれしいな。マスクをしなくていいし、おおきなこえでさけんだり、ひつつきむしみたいにともだちにくつつくこともできる……」

2019年の末から、世界中で新型コロナウイルスとの闘いが始まりました。マスクをすること、人と距離をとること。私たちの生活も大きく変わりました。学生の皆さんにとっても、大きな出来事だったと思います。今でもその闘いは続いています。コロナ禍で、子どもたちも大人と同じように、びっくりしたり、がまんしたりすることがたくさんありました。新型コロナウイルスの感染拡大は歴史の中に大きく残る出来事でしょう。この絵本は、新型コロナウイルスの感染が早く終息して欲しいと待っている子どもの願いを描いたものです。子どもたちの願いは、「みんなとあしくしたい」「ともだちとおしくらまんじゅうしたい」「おじいちゃんとおばあちゃんに会いに行く」と様々です。一つ一つ読むと切なくなります。子どもたちの願いをどうしたらかなえてあげることができるのかを考えることは大切です。また、子どもと楽しく過ごすために、今できることは何なのか、新たなアイデアで乗り切ることはいかに柔軟な発想を持つ、そんな軽やかさも必要だと思います。 (すずき出版)



◆◆館員からのおすすめ◆◆

『坂の途中の家』 (角田光代)

大久保美玲

もうすぐ3歳になる娘をもつ山咲里沙子は、乳児虐待死事件の補充裁判員に選出されます。被告人が他人とは思えず、彼女の人生に自分を重ね合わせながら裁判にのめり込んでいきます。裁判が進むにつれ心労が重なる中、夫からは十分な協力も理解も得られないまま主婦業もこなさなければならず、心身ともに限界に達します。子育てのトラブル、夫婦間のプライドを刺激し合う緊張感など、ちょっとしたことがきっかけで、子育てが非常に息苦しいものになってしまう可能性を、本書は示唆しています。子どもを守るためにも、ワンオペではなく、多くの人に責任が分散しやすい子育ての環境づくりが大切だと切実に感じさせる一冊です。

(朝日新聞出版)



『本屋さんのダイアナ』（柚木麻子）

吉田 梨紗

2年生の皆さんご卒業おめでとうございます。卒業に向け自立と友情を描いた本を紹介いたします。

ダイアナと彩子は本が好きということ、自分にはないものをもつ相手に惹かれ親友になります。しかし些細なすれ違いにより仲たがいをし、疎遠になってしまいます。思春期の二人は友達関係、家庭環境や進路等、悩みが付きまといまいます。それぞれ与えられた環境に縛られながらも、自立に向け歩き出します。困難にあっても二人は愛読書でもある一冊の本に自分を重ねながら乗り越え、10年後二人は再会を果たします。

皆さんも学生から社会人になりますが苦楽を共にした学生時代の友達は今後かけがえのない存在です。そしてこれから先の人生で思うようにいかないこともあるかもしれませんが、その時にダイアナと彩子のように何か一つでも自分を勇気づけるものを見つけ、前へ進んでほしいと思います。

（新潮社）



『だるまちゃんの思い出 遊びの四季』（かこさとし）

原 真由美

かこさとしさんは、数多くの絵本を手がけたほか子どもの遊びの記録と調査にも生涯取り組み続けました。楽しいだけでなく、人間関係や生活の悩み、葛藤を抱えながら子どもが何を感じて遊んでいるのかを考えて遊びを見つめました。

この文庫には、幼い頃足をキズだらけにして故郷の野山を駆け回って、飽きずに繰り返した自身の遊びの記憶がたくさん綴られています。花のつぼみから春の訪れを感じ、ゴムとび、尻ずもうで身体を動かし、秋には彼岸花で首飾りを作ったりと季節ごとの遊びが紹介されています。ページを開けば、悩んだりケンカしながらも和氣あいあいと遊ぶ子どもたちの元気な声が聞こえてくるようです。手元があれば、いつでも自然を使った遊びやゲームを楽しむことができるヒントが満載です。

困難な状況のなか社会へ飛び立つ2年生のみなさん、それぞれの場での活躍を応援しています。

（文春文庫）



卒業後の利用★お待ちしております！

2年生のみなさん、多くのご利用ありがとうございました。卒業後も在学中と同じように図書館を利用できます。保育の現場でアイデアが欲しいとき、絵本や紙芝居が必要とき、また気分転換のために本を読みたいときなど、使い慣れた図書館にまた足を運んでください。

*新型コロナウイルスの感染拡大状況により、利用を一時休止する場合があります。利用の際は必ずホームページなどで最新情報を確認してください。

利用可能な場合は以下の方法でどうぞ！（事前予約制です）

- ◆利用前日までにメール（lib@yokotan.ac.jp）、または電話（直通045-835-8115）で連絡ください。
- ◆当日、本館受付で手続きをして図書館へ来てください。
- ◆ライブラリーカードを持参してください。



ホームページを活用してください

自宅から本もさがせます

カレンダーで開館日を確認

詳しい利用について

最新のお知らせ

図書館カレンダー



3 March

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		



4 April

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

休館日

3月 平日（月～金）9:00～16:30

4月以降の開館日は予定です。

開館時間など詳しいことは決まり次第お知らせします。

授業の準備などで9:00前から利用したいときは、事務室に声をかけてください。

8:50ごろから開館します。

返し忘れの本はありませんか？

返却期限の過ぎた図書が手元にありませんか？ わからない時はリストを出力できますので、カウンターまで確認にきてください。

予約やリクエストの連絡に便利なメールアドレスの登録を！

バーコード読み取り機能のついた携帯電話で読み取って
学籍番号と氏名を送信してください。

登録されたアドレスは図書館からの連絡以外には使用しません。



後記

2年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍前は、ほぼ毎月発行していた図書館報。今は入学式と卒業式に配布するのみですが、1号分にギュッと情報がつまっています。卒業後の図書館利用方法も詳しく案内していますので、是非活用してくださいね。新たな環境でのご活躍をお祈りしています。

(大久保)